

地理空間  
情報活用  
社会

社会のグ  
ローバル化  
が進展

複雑で変  
化が激しい  
社会

災害から命と生  
活を守る災害特  
性の理解

国土の豊かな恵みを次の世代に引き継  
いでいくための地理教育が急務

平成27年11月 国土地理院内に「地理教育支援チーム」を設置

- 地理教育の現状と課題について調査
- 国土地理院における地理教育支援のあり方を議論
- 院幹部と支援チームによる「地理教育勉強会」を平成28年5月までに計8回実施

### 高等学校の地理歴史科における「地理総合（仮称）」の必修化

『地理歴史科においては、「世界史」の必修を見直し、共通必修履修科目として、（中略）持続可能な社会づくりに必要な地理的な見方や考え方を育む科目「地理総合（仮称）」の設置を検討することが求められる』

中央教育審議会教育課程部会  
教育課程企画特別部会  
「論点整理」（平成27年8月  
26日）より

- 地理を専門としない教員の支援が急務
- 教員が地図や地理空間情報を容易に扱えるよう、情報の提供方法の工夫や教員の理解の促進などの支援が必要

## 地理教育の支援に向けた課題の整理と具体的取組への提言

～国土の豊かな恵みを次の世代に引き継ぐために～

### 地理教育の課題

- 若年層の基礎的な地理的知識の低下
- 地理空間情報リテラシー教育の必要性
- 高等学校における教育課程の問題
- 地理を専門としない教員の支援
- 十分活用されていない国土地理院の情報
- 土地との関わりの希薄化
- 防災教育の支援促進
- 自主的活動のネットワーク

国土の豊かな恵みを次の世代に引き継ぐ基盤を構築するための  
7つの目標（アウトカム）

- 教員の地理の指導力が向上する。
- 児童生徒の地理空間情報リテラシーが向上する。
- 児童生徒（及び関係者）が地理空間情報技術、測量技術に親しみをもち、将来の職業の選択肢として認識する。
- 地理系学科、測量系学科の志望者が増加する。
- 地理や地図に関するイベントへの参加者が増加する。
- 児童生徒の地域の災害特性の理解が向上する。
- 地理、地図を楽しむ自主的活動の交流の場が確立する。

#### ① 教育現場の支援

- 教育支援ポータル「教育の工具箱」の作成
- 教員研究会、教員研修等への参加
- 教科書会社への説明会
- 学会等との連携による地理空間情報リテラシー教育のあり方検討

#### ② 児童生徒と保護者へのアプローチ

- インターンシップ（サマースクール）
- 地理系学科、測量系学科学生の就業先拡大支援
- 地理オリンピック、地学オリンピック支援
- 学校へ行こうプロジェクト：地方測量部等の取組促進

#### ③ 防災教育支援の強化

- 国土交通省防災課と連携、地方測量部と地方整備局、気象台によるチーム国交省での取組
- ハザードマップポータル、防災地理情報提供の充実

#### ④ 若年層に親しんでもらうために

- 親しみやすいメディアや若年層に魅力的な活動の推進（遊びからの地理）
- 自発的な活動をつなぐ「ひろば」づくり

#### ⑤ 継続的取組に必要な措置

地理教育の推進に向けた  
具体的な取組